学校番号	３０２

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新編地理資料２０１９　（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理という空間軸を感じる。
・空間の科学である地理は、考察の対象となる地域や空間の大きさを大切にする。
・地理は人間の側からの論理だけで世界を見ようとはせず、自然環境の存在を大切に考え、自然と人間相互の関係や相手に与える影響を知ろうとする学問である。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的事象を系統地理的に考察する。
・現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察する。
・現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。
・国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事象や追求の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	［主題学習］ 振り返りシート	［主題学習］ レポート	［主題学習］ レポート	［主題学習］ 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	様々な地図と地理的技能	・地図の発達 ・地図の種類とその利用 ・地図情報の地図化	○	○	○	○	a:現代世界の地図について、様々な時代や現代の地図の読図、地理情報の地図化などの活動を通して、現代世界の地図に対する関心と意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b:地図の種類とその利用について、球体としての地球上の移動と地図上での表現の特徴や、地球の自転によって時差が生まれる仕組みを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地理情報に関するデータなどの諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択し、これをもとに、適切な統計地図に表現している。 d:地球の球体としての特徴とこれを地図に表現した場合の長所短所、時差の計算法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

前期	現代世界の系統地理的考察（自然環境）	・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活	○	○	○	○	a:気候と生活の関わりについて関心を高め、意欲的に取り組むとともに、それらの多様性や地域性を捉える視点や方法を身につけようとしている。 b:日本の地形や気候と自然災害の特徴に関する地理的事象から開発のあり方などの課題を設定し、追求するとともに、あるべき姿についての視点や方法を考察している。 c:世界の気候と人間生活への影響に関するデータや写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、世界の気候の特徴と農業など人間生活への影響について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:地形の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観するとともに、系統地理的に捉える視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

前期	資源と産業	・世界の農林水産業 ・食料問題 ・世界のエネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・世界の工業	○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○	a:世界の農林水産業について、農業地域区分や農林水産業の分布、動向などに関する考察を基に、現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b:世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの資源の特徴や利用法、分布のかたよりを、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:食料の生産と消費の地域的かたよりに関する統計や事例などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に食料問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:各工業や工業地域の特色、分布や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

前期	人口・村落・都市	・世界の人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題・	○	○	○	○	a:世界の人口について、世界人口の分布や動態などに関する考察を基に、人口構成や人口転換に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し捉えようとしている。 b:世界の人口問題について、発展途上国の人口爆発の要因、先進国や日本の少子高齢化の仕組みを、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:都市の人口や分布、都市の地域構造に関する統計や地図などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、村落と都市について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:発展途上国、先進国、日本の都市・居住問題の特徴や解決への道筋について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

後期	生活文化、民族・宗教	・世界の衣食住 ・民族と宗教 ・現代世界の国家 ・民族・領土問題	○	○	○	○	a:民族・宗教について、民族・宗教とは何か、生活とどのように関わっているかに関する考察を基に、民族と宗教に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b:現代世界の国家について、国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国家間の関係の課題を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の衣食住の写真や巨大企業の海外進出のデータなどの諸資料を適切に収集し、収集した資料から有用な情報を適切に選択して、これを基に、生活文化の地域的差異や画一化について読みとったり図表などまとめたりしている。 d:世界各地の民族・宗教や領土に関する問題を整理し、多文化共生の事例について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	現代世界の地誌的考察	・現代世界の地域区分 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア	○ ○ 	 ○ 	 ○ 	 ○	a:南アジアについて、インドを中心とした地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題を基に、南アジアに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b:東アジアについて、日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造、中国の人口増加と経済格差や中国・韓国の経済発展の仕組みなど地域的特色や地域的課題を、項目ごとに整理して動静的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:東南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、東南アジアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:西アジアと中央アジアの自然の特徴、二つのアジア地域のイスラームを中心とした生活文化歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、交易を軸に発展した都市や恵まれた資源と産業などの共通する地域的特色や地球的課題について、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

後期	現代世界の地誌的考察	・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア	○	○	○	○	a:北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化の地域にみられる地域的特色や地球的課題を基に、北アフリとサハ以南のアフリカに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b:ヨーロッパについて、産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造、各地域の民族と宗教の課題、ＥＵを中心とした地域の結びつきと農業・工業の仕組みや変化の構造的課題などの地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して動静的に考察する方法を基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:ロシアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、ロシアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ヨーロッパの自然の特徴、産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、各地域の民族と宗教の特徴、ＥＵを中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化の実態などの地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して動静的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

後期	現代世界の地誌的考察	・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア ・現代世界と日本	○	○	○	○	a:アングロアメリカについて、アメリカ合衆国やカナダにみられる地域的特色や地球的課題を基に、アングロアメリカに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b:オセアニアについて、オーストラリア、ニュージーランドの移民の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造、これによって、民族・文化的特徴が生まれた仕組み、深まるアジアとの関係と課題などの地域的特色や地球的課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代世界における日本の国土に関する統計などを、現代世界における日本の国土について読みとったり図表などにまとめたりしている。 d:ラテンアメリカの自然の特徴、先住民の文明がスペインやポルトガルに植民地化され歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、これによって生まれた複雑な人種・民族構成や大土地所有制による農業の特徴、鉱産資源を基盤とした工業化の進展と格差の実態などの地域的特色や地球的課題について、その知識を身につけている。	レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。